

2025年度 日本学生支援機構奨学金(【給付】・【貸与(第一種・第二種)】) 募集要項

- ・現在、日本学生支援機構(以下、機構)で受給中の奨学金には、二重で出願することができません。
例:出願○ 第一種を受給中で、第二種を併用貸与したい。
※併用貸与の学力・家計基準あり(「④-B 貸与奨学金案内」P.11-13 参照)。
- 出願○ 第一種を受給中で、給付型を受給したい。
※第一種の貸与額に制限あり(「④-A 給付奨学金案内」P.19-21 参照)。
- 出願× 第二種を受給中で、第二種を追加で貸与したい。※貸与月額変更の希望は別途問合せ。
- ・今回の二次採用は2024年分の収入情報により家計審査を行います。そのため、これまでに給付奨学金に出願して“家計基準を満たさないことにより不採用”となった方であっても、世帯構成や年収等に変更が生じている場合には、採用される可能性があります。

1. はじめに

◆日本学生支援機構の奨学金を受け取るにあたって

- ・奨学金制度について、資料をよく読み、十分理解したうえで、出願してください。
- ・今後、奨学金の書類提出や手続き等に関するお知らせは、TKUポータル等でご連絡します。説明資料等を必ずよく読み、手続き期限を守ってください。
- ・奨学生として自覚と責任を持って、勉学に励んでください。毎年度末3月に学業成績による継続判定があります。学業成績が平均水準以下の場合、奨学生として採用されても途中で奨学金の振込みが打ち切られます。
- ・奨学金は学生本人が給付・貸与されるものです。学生本人が奨学金制度をご理解の上、手続きしてください。
締切日を過ぎた場合は、いかなる理由であっても書類受付ができません。
- ・学生課奨学金係の電話番号(☎042-328-7759)から着信があった場合は必ず折り返してください。
- ・質問は、学生ご本人から受け付けています。TKUポータル「質問・相談」機能をご利用ください(本要項P14参照)。電話でのお問い合わせはお控え願います。

◆【給付】出願前に必ず確認！

※高等教育の修学支援新制度(以下、新制度)への申込みも兼ねます。住民税非課税世帯もしくはそれに準ずる世帯が対象のため、家計基準に該当するか、事前に確認が必要です。2025年度から多子世帯への支援が拡充。

- ① 文部科学省の特設サイト(<https://www.mext.go.jp/kyufu/>)を確認。
- ② **3. 【給付】新制度の対象者要件について**を確認し、あなたが該当しているかを確認。
- ③ 「進学資金シミュレーター」(<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>)により、あなたの制度利用可否・支援区分の目安を確認。

◆【給付】新制度の概要

返還義務のない奨学金の支給。支援区分により授業料の減免額が異なる(詳細はP.5参照)。

給付型奨学金の支給 + **授業料の減免** をセットで受給する。

※入学金の減免は、5月までに申請した2025年4月本学入学者且つ、過去に入学金の減免を受けたことのない者のみ。

※授業料の減免は、2025年度2期分から対象です。



2-1. 出願時：配布書類

大学ウェブサイトに掲載。必要書類をご自身でダウンロードし A4判用紙に印刷してください。

配布(掲載)書類		出願書類
<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「提出」：出願書類として必ず提出が必要。 「☆」：よく確認してください(提出不要)。 </div>		
ア	募集要項(本冊子) →よく読んだうえで、出願してください。 印刷して保管することを推奨します。	☆
イ	A 2025 年度在学者用 給付奨学金案内 →よく確認の上、出願してください。	☆
	B 2025 年度在学者用 貸与奨学金案内 →よく確認の上、出願してください。	☆
	C 2025 年度在学者用 奨学金案内 ダイジェスト →レターパックⅡで冊子を配布予定(P.3 2-2.参照)。	☆
ウ	出願書類チェックシート →A4判用紙に印刷、空欄を記入・該当箇所にチェック✓して提出。 出願書類を確認(P.9 参照)して作成のこと	提出(全員)
エ-A	2025 年度 スカラネット入力下書き用紙(給付・貸与共通) →A4判用紙に両面印刷し、左側 2 か所でホチキス留めしてください。 →大学ウェブサイトに掲載している「下書き用紙サンプル(エ-B)」を参照しながら下書きしてください。	提出(全員)
オ	授業料等減免の対象者の認定に関する申請書[A 様式 1] →よく読んだうえで、A4判用紙に印刷し記入して提出。 →最下段「 <input type="checkbox"/> 在学採用の申込を行った者」の欄は記入不要。	提出 【給付】希望者
カ	学修計画書 →PDF(手書き)もしくは Excel(パソコンで入力_氏名欄は自署)のいずれかの形式で作成して提出。	提出 【給付】希望者

- 配布書類以外の出願書類については、p9 の8. 出願書類一覧を確認してください。
- 出願書類一式を揃えて、レターパックライト 430 [I 出願書類①] (P.10 参照)を使用し、提出してください。

< 出願書類作成時の注意 >

- 印刷やコピーは、A4 判用紙を使用してください。
- A4 判用紙 1 枚に 1 ページ分となるように印刷してください。
- 両面印刷は、長辺綴じを指定してください。
- 記入は、黒のボールペンを使用してください。摩擦等で消せるペンは使用しないでください。
- 修正テープ等の使用はできません。訂正する際は、二重線で削除し直近の余白に記入してください。

手順 2 → 3

2-2. 出願書類提出後：配布書類

出願書類を点検した後、レターパックライト 430 [Ⅱ 本人返送用]にて配布します。

返送書類		返送書類 受領後
1	【重要】スカラネット入力手順等について ※スカラネット入力用 ID・パスワード記載	スカラネット入力時に使用します。
2	㊦-C 2025 年度 奨学金案内 ダイジェスト	よく読んで、理解してください。
3	㊦-A 2025 年度 スカラネット入力下書き用紙 (給付・貸与共通) ※出願時に提出いただき、奨学金センターで 内容点検したもの	下書き用紙を確認後、スカラネットに入力してください。赤ペン・付箋等で修正されている方は、追記や訂正記入した後に、入力してください。 ※入力内容と下書き用紙の記入は一致させてください。 ⇒スカラネット入力後、 <u>速やかに</u> 再提出。(同要項 2-3.参照)
4	「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット	同封の「奨学金確認書兼地方税同意書の提出方法」を確認・作成してください。 ⇒スカラネット入力後、 <u>1 週間以内</u> に機構へ郵送。 (同要項 2-4.参照)

※要項作成時点での予定のため、変更になる可能性があります。

※詳細は、レターパックライト 430 [Ⅱ 本人返送用]にて返送する書類でご確認ください。

手順 3 → 4

2-3. スカラネット入力後：提出書類

提出書類	備考
“点検後に返送された” ㊦-A 2025 年度 スカラネット入力下書き用紙 (給付・貸与共通)	入力完了後に表示される「受付番号」を記入してください。

レターパックライト 430 [Ⅲ 出願書類②] を使用し提出してください。(P.8 参照)

手順 5

2-4. スカラネット入力後：機構へ提出する書類

郵送提出書類	備考
「奨学金確認書 兼 地方税情報の取扱いに関する同意書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書」	スカラネット入力後、1 週間以内に専用封筒を使用し、機構へ郵送。 提出方法等は同封書類を確認してください。 ※作成には生計維持者の方の署名が必要です。

「奨学金確認書兼地方税同意書」のセットに同封されている専用封筒を使用し、**簡易書留**で郵送提出してください。

3.【給付】新制度の対象者要件について

詳細は、「①-A 給付奨学金案内」の
該当ページを参照してください。

名 称		給付奨学金	ページ	
出 願 資 格	条 件	<p>次の①・②をいずれも満たしている者</p> <p>①学部学生(標準修業年限を超えて在学する学部生を除く) ※大学院生・留学生は対象外。</p> <p>②高等学校等を初めて卒業した年度の翌年度の末日から、大学等に入学した日までの期間が2年を経過していない者。</p> <p>[対象となる者の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年3月に高等学校等を卒業→2025年度末までに大学等へ入学した者 ・2022年3月に高等学校等を卒業→2024年度末までに大学等へ入学した者 ・2021年3月に高等学校等を卒業→2023年度末までに大学等へ入学した者 <p>※高等学校卒業程度認定試験(以下「認定試験」)合格者等については、受験資格を取得した年度(16歳となる年度)の初日から認定試験に合格した日の属する年度の末日までの期間が5年を経過していない者(5年経過後も、毎年度認定試験を受験していた者も含む。)で、かつ認定試験に合格した日の属する年度の翌年度の末日から大学等に入学した日までの期間が2年を経過していない者。</p>	6～7	
	学 業 成 績	1年次	<p>次の①～③のいずれかに該当すること。</p> <p>①高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、又は、入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲に属すること(入試の結果はお答えできません)</p> <p>②高等学校卒業程度認定試験の合格者であること</p> <p>③将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること。</p>	8
		2年次以上	<p>次の①・②のいずれかに該当すること。</p> <p>①GPAが在学する学部等における上位1/2の範囲に属すること</p> <p>②修得単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること</p> <p>※標準単位数＝卒業に必要な単位数÷修業年限(4年)×申込者の在学年数</p> <p>※①・②のいずれかに該当する場合でも、標準修業年限で卒業できないことが確定している場合には、不採用。</p>	
	家計状況	<p>学生本人と生計維持者が、次の◆収入基準および◆資産基準のいずれにも該当すること。</p> <p>◆収入基準:「進学資金シミュレーター」において、収入基準に該当するおおよその目安を確認(本要項P.1参照)。</p> <p>◆資産基準:5,000万円未満であること。資産とは、現金やこれに準ずるもの(投資用資産として保有する金・銀等)、退職金、預貯金、有価証券や投資信託、満期や解約により現金化した保険、合計額を指す。</p> <p>※土地・建物等の不動産は対象にはなりません。</p>	9～11	

4. 【給付】2025 年度学費等及び新制度採用者の減免額について

●2025 年度学費等一覧(入学金・授業料減免前)

(単位:円)

学部等/年次		納期	A 授業料	B 入学金	C その他 *1	満額 A+B+C	
経営学部 経済学部	1年次及び 3年次編入生	1期	409,000	150,000	182,400	741,400	
		2期	409,000	—	142,300	551,300	
	2年次以降	1期	384,000	—	142,300	526,300	
		2期	384,000	—	142,300	526,300	
コミュニケーション学部	科 メディア社会学	1年次及び 3年次編入生	1期	447,000	150,000	182,400	779,400
			2期	447,000	—	142,300	589,300
		2年次以降	1期	422,000	—	142,300	564,300
			2期	422,000	—	142,300	564,300
	シヨン学科 国際コミュニケーション	1年次及び 3年次編入生	1期	462,000	150,000	182,400	794,400
			2期	462,000	—	142,300	604,300
		2年次以降	1期	437,000	—	142,300	579,300
			2期	437,000	—	142,300	579,300
	コミュニケーション学科 ※21C 以前		1期	417,500	—	142,300	559,800
			2期	417,500	—	142,300	559,800
現代法学部	1年次及び 3年次編入生	1期	423,500	150,000	182,400	755,900	
		2期	423,500	—	142,300	565,800	
	2年次以降	1期	398,500	—	142,300	540,800	
		2期	398,500	—	142,300	540,800	
キャリアデザインプログラム *2		1期	424,000	150,000	182,400	756,400	
		2期	424,000	—	142,300	566,300	

*1 C その他の内訳=教育充実費(半期分 135,000 円×2)+諸会費(半期分 7,300 円×2)+同窓会費(初年次のみ 1 期に 40,000 円)+学生会入会費(初年次のみ 1 期に 100 円)

*2 現キャリアデザインプログラム 1 年次生の 2 年次以降の学費等は、所属学部の同年次生の納入額と同額。

●減免対象の方の授業料減免額及び入学金減免額一覧

支援区分	授業料	入学金 *1
第 I 区分	350,000	150,000
第 II 区分	233,400 *2	100,000
第 III 区分	116,700 *2	50,000
第 I ~ IV 区分(多子世帯)、多子世帯	350,000	150,000

支援区分は 2024 年(1/1~12/31)の収入に基づく 2025 年度住民税情報により判定されます。P.4 参照。

*1 1 年次 4 月支援開始の方対象のみ。3 年次編入生の方で、前学校で入学金を減免していた方は本学では入学金の減免対象となりません。

*2 100 円の差が生じる場合あり

- ◆ 新制度は、給付型奨学金の支給＋授業料の減免が受けられる制度です。
そのため、給付型奨学金採用者＝新制度採用者です。
- ◆ 給付型奨学金の支給額及び授業料等の減免額については、支援区分ごとに異なります。
※但し、多子世帯に属している場合は支援区分によらず授業料(年額70万円-半期35万円)の減免が受けられます。
- ◆ 学費等一覧の満額から減免額を差し引いた金額が、減免対象の方の負担額です。ご自身の支援区分等に応じて計算の上、負担額(納入額)をご確認ください。
- ◆ 支援区分は、学業成績及び家計基準により、6か月ごとに見直しを行います(これを「適格認定」という)。そのため1期・2期で支援区分が変更になることがあります。
- ◆ 2025年度学費等を満額支払われた方で新制度に採用された場合は、減免額を学生本人口座へ返還します。2期分の返還は3月末を予定しています。採用決定後に、新制度採用者へTKUポータルにてお知らせします。
- ◆ 2025年度学費等の延納手続きをされている学費未納の方で新制度に採用された場合は、減免額反映済みの振込用紙を送付予定です。
- ◆ 在学採用(二次採用)で採用された方は、2025年2期から対象です。(1期分の減免は受けられません)

- ・学費2期末納者には、大学の規程に則り、11月下旬及び12月下旬に経理課より学費納入の督促を行います。納入が遅れる場合は、学費延納の手続きをしてください。延納手続きについては、TKUポータル(7月16日配信)をご確認ください。お問い合わせは学籍係(☎042-328-7753)へ。
- ・特待生の方は、本学の特待生制度を利用し、授業料を全額免除します。

5. 【給付】第一種奨学金との併給調整について

- ・給付奨学金と第一種奨学金を同時に受ける場合は、貸与を受けられる月額の上限額が制限されます(これを「併給調整」という)。「④-A 給付奨学金案内」P.19-21 または、本要項 P.13 参照。
- ・現在第一種奨学金を受給中の方が給付奨学生に採用された場合には、2025年10月以降に貸与を受け第一種奨学金について併給調整を行うことになるため、10月以降に給付奨学生に採用された後、振込済みの第一種奨学金について返金する必要が生じる場合があります。

【給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額(併給調整)】		
給付奨学金区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	0円	0円
第Ⅱ区分	0円	0円
第Ⅲ区分	21,700円(20,000円、30,300円)	19,200円
【多子世帯支援拡充の対象者に係る第一種奨学金の利用可能額】		
多子世帯支援拡充の対象者である場合		
支援区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分(多子世帯)	0円	0円
第Ⅱ区分(多子世帯)	0円	0円
第Ⅲ区分(多子世帯)	0円	0円
第Ⅳ区分(多子世帯)	0円	0円
多子世帯 ※	0円	5,600円

※これに該当する方は、給付奨学金は支給されませんが、授業料減免の支援により、利用可能額が調整されます。所得にかかわらず、資産額が5,000万円以上3億円未満であることにより授業料減免のみの支援となる方も同額となります。

6. [貸与]出願資格

詳細は、「①-B 貸与奨学金案内」の該当ページを参照してください。

名 称		第一種奨学金	第二種奨学金	ページ
種 別		貸与(無利子)	貸与(有利子)	
貸与月額		自宅 :2万、3万、4万、5.4万円 自宅外 :2万、3万、4万、5万、6.4万円	2万～12万円のうち、1万円単位	第一種 6～8 第二種 8
貸与期間		貸与開始月から正規の卒業予定年度の3月まで(最長4年間)。 毎年12月に継続手続、毎年度末3月に、1年間の修得単位数による成績判定を行う(申し出により、貸与中の辞退可能)。		10～11
選考基準	学力基準 1年次 2年次以上 ※	高等学校最終2か年の全科目の 評定平均値が3.5以上の方	学修意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる人	11
	家計基準	本人の属する学部(学科)の上位 1/3 以内であること	①修得単位数 2年生:25単位以上 3年生:50単位以上 4年生:80単位以上 ②成績が平均水準以上	
交付方法		毎月、 本人名義の普通口座 に振込みされる。 (農協・信託銀行・外資系銀行・ネットバンク・楽天銀行・セブン銀行等は不可)		16
利率について [第二種のみ]		卒業後、定められた利率(上限年利3.0%)をもとにした元利均等方式で返還。 申込時に①か②を選択。元金総額はいずれも同じ。 ①利率固定方式……一度決定した利率で、返還完了まで変わらない。 ②利率見直し方式……おおむね5年ごとに市場金利にあわせて利率を見直し。 ※ただし、在学中に返還する場合は無利子。		17～18
返還方式について [第一種のみ]		卒業後の 返還方式 を選択。申込時に①か②を選択。 ① 定額返還方式 ……貸与総額に応じて月々の返還額が算出され、返還完了まで返還する月額が同じ。 ② 所得連動返還方式 ……前年の所得に応じて月額を毎年見直し。		19～20
保証制度について		貸与(借入金)のため、申込時に①か②を選択。 ①人的保証……「連帯保証人」として父または母、「保証人」として父母以外の親族(おじ・おば等)が必要。採用後「返還誓約書」提出時に、実印や印鑑登録証明書の提出が必要。 ②機関保証……保証機関「日本国際教育支援協会」に毎月保証料を支払い、保証を受ける制度。連帯保証人・保証人は不要。 ※「所得連動返還方式」(上記参照)を希望する場合は、機関保証を選択。		23～28

※学力基準について、2025年1期の成績は含みません(2025年4月時点での成績)。

7. 出願から申込完了までの流れ

「㊦-A 給付奨学金案内」P.24～35 ページも参照。
 「㊦-B 貸与奨学金案内」P.30～46 ページも参照。

出願希望者

手順1

大学HP等より
出願書類等ダウンロード・印刷

出願書類準備・作成
⇒ 右記期限内に提出

今ここ!

レターパック430の記入例は
P.10～11を参照。

奨学金受付センター

大学窓口での提出不可

手順2

出願書類①受付期間

郵送 9/29(月)～10/3(金) 必着

点検後、返送された「スカラネット入力下書き用紙」
を見ながら入力。

手順3

スカラネット入力!!

10/10(金)までに入力

入力後、「㊦-A スカラネット入力下書き用紙」を
出願書類②として再提出 (大学で保管)

II

出願書類を確認後、
レターパックにて随時返送します。
・「㊦-A スカラネット入力下書き用紙」返却
・「【重要】スカラネット入力手順について」配付
※ID・パスワード記載あり
・「奨学金確認書兼地方税同意書」配付

手順4

出願書類②提出締切日

郵送 10/14(火) 必着

手順5

「確認書兼同意書」等を機構へ簡易書留で郵送
※スカラネット入力から1週間以内!

最終締切は 10/17(金)

出願完了

初回振込日(採用決定)

12 / 11(木)

※給付・貸与始期～12月(最大3ヶ月分)

採用結果通知

12月上旬頃にTKUポータルにて配信

「奨学生証」等受取り

[貸与のみ] <作成・提出>
[保証により作成提出書類が異なります。]

・「返還誓約書」
・〔人的保証〕連帯保証人・保証人の
印鑑登録証明書等
・〔機関保証〕保証依頼書

[貸与のみ]

「返還誓約書」等受付

未提出の場合は、採用取消＝受給分返還

「返還誓約書」等を日本学生
支援機構へ提出

日本学生支援機構にて受理され、採用確定!

8. 出願書類一覧 以下の書類をそろえて、P.8 の受付期間内に、「レターパックライト 430」を使用し提出してください。

	対象	出願書類	備考
出願書類 ①	全員	レターパック 430 [Ⅰ] 出願書類①提出用]	必要な出願書類①をそろえ、郵送。受付期間必着！余裕をもって投函してください。
	全員	レターパックライト 430 [Ⅱ] 本人返送用]	スカラネット入力用のID・パスワード等を交付します。本要項 P.10 の記入方法を参考にし、記入してください。
	全員	㊦ 出願書類チェックシート	A4判用紙に印刷。
	全員	㊥-A 2025 年度スカラネット入力下書き用紙(給付・貸与共通)	A4判用紙に両面印刷。下書きをして提出のこと(内容確認します)。本要項 P.2 参照。
	【給付】のみ	㊥ 授業料等減免の対象者の認定に関する申請書[A 様式 1]	A4判用紙に両面印刷。右上の日付欄は申請する日(提出日)を記入してください。最下段「 <u>□在学採用の申込を行った者</u> 」の欄は空欄で提出のこと。
	【給付】のみ	㊥ 学修計画書	PDF(手書き)、もしくは Excel(パソコンで入力_氏名欄は自署)で作成して提出。
	全員	住民票(続柄が表示されている家族全員分)原本	同一生計の家族全員分(同居・別居は問わない)。 <u>個人番号は非表示</u> 。発行日3カ月以内のもの。コピー不可。
	全員	学生本人名義の口座情報(金融機関・支店・普通口座番号・名義)がわかるページ(通帳・Web 画面等)のコピー	A4判用紙に印刷。使用できる金融機関は「㊥-A 給付奨学金案内」P.22/「㊥-B 貸与奨学金案内」P.16 参照。
	1 年次生全員	高等学校卒業後に発行された調査書	高校卒業者。卒業日以降に発行された「卒業」記載ありのもの。「卒業見込」不可。
		高卒認定合格証明書	高卒認定者のみ。
	3 年次編入生全員	前短大等の学業成績証明書(GPA 付) [4 月以降発行のもの]	2025 年度入学の 3 年次編入生のみ
該当者のみ	在留資格及び在留期間が明記されている証明書	出願者(学生)本人が外国籍の場合。詳細は「㊥-A 給付奨学金案内」P.26/「㊥-B 貸与奨学金案内」P.33 参照。	
該当者のみ	施設等在籍証明書等	18 歳となる前日に児童養護施設等に入所していた日付が分かる証明書類。詳細は「㊥-A 給付奨学金案内」P.26/「㊥-B 貸与奨学金案内」P.33 参照。	
出願書類 ②	全員	レターパックライト 430 [Ⅲ] 出願書類②提出用]	スカラネット入力後に、以下「㊥-A」を郵送。提出締切日に注意し投函してください。
	全員	㊥-A 2025 年度スカラネット入力下書き用紙(給付・貸与共通)	スカラネット入力後、速やかに再提出。本要項 P.3,P.8 参照。
機構へ 郵送	全員	専用封筒(簡易書留)	『「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット』内に同封されている専用封筒。裏面に氏名・住所を記入。郵便局窓口から簡易書留にて郵送してください。
	全員	奨学金確認書兼地方税同意書	機構へ専用封筒を使用し、簡易書留で郵送。本要項 P.3,P.8 参照。 同意書の作成には、出願者(学生)本人、生計維持者の署名が必要です。

[I 出願書類①] 提出用 レターパック記入方法

レターパックライト 430 は、郵便局、一部コンビニで購入可。ポスト投函で郵送可（郵便局窓口へ行く必要なし）。

※レターパックプラス 600（赤）は使用しないでください。

宛先は奨学金センターです。
大学ではないのでご注意ください！
この通りに記入してください
赤枠で切り取りレタパに貼っても可

【お届け先 To】

〒206-8799
多摩郵便局留
東京経済大学奨学金受付センター
042-328-7759

【ご依頼主 From】

- ・学生本人（発送先）がいる住所
- ・学生本人氏名と学籍番号
- ・学生本人の電話番号

【品名】

在学採用 出願書類① 学籍番号
記入例:「在学採用 出願書類① 25B9999」

【ご依頼主様保管用シール】

郵便局のウェブサイトから配達状況の追跡が可能です。剥がしてご自身で保管し活用してください。
※郵便局用バーコードは日本郵便で使用するため、剥がさないこと！

「ご依頼主様保管用シール」貼付

[II 本人返送用] レターパック記入方法

真ん中で半分に折る

【お届け先 To】

- ・学生本人（返送先）がいる住所
- ・学生本人氏名と学籍番号
- ・学生本人電話番号

【ご依頼主 From】空欄（未記入）のまま提出

【品名】空欄（未記入）のまま提出

【ご依頼主様保管用シール】

剥がさないでください。

◆[I 出願書類①] に入れる際は、半分に折って、同封してください。

◆封緘しないでください

↓ P.8 スカラネット入力後の再提出時

【Ⅲ 出願書類②】 提出用 レターパック記入方法

レターパックライト 430 は、郵便局、一部コンビニで購入可。ポスト投函で郵送可（郵便局窓口へ行く必要なし）。

※レターパックプラス 600（赤）は使用しないでください。

宛先は奨学金センターです。
大学ではないのでご注意ください！
この通りに記入してください
赤枠で切り取りレタバに貼っても可



【お届け先 To】

〒206-8799
多摩郵便局留
東京経済大学奨学金受付センター
042-328-7759

【ご依頼主 From】

学生本人（発送先）がいる住所
学生本人氏名
学生本人の電話番号

【品名】在学採用 提出書類②

記入例：
在学採用 提出書類②(25B9999)

【ご依頼主様保管用シール】

郵便局のウェブサイトから配達状況の追跡が可能です。剥がしてご自身で保管し活用してください。
※郵便局用バーコードは日本郵便で使用するため、剥がさないこと！

「ご依頼主様保管用シール」貼付

[参考 1] 【給付】〔貸与〕奨学金を希望する皆さんへ(動画)

大学等への進学後に在学採用で奨学金を申し込む方向けに、奨学金制度の概要や申込み手続等について、動画で説明しています。

[奨学金を希望する皆さんへ\(動画\) | JASSO](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/flow.html)

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/flow.html>)



[参考 2] 〔貸与〕返還シミュレーション

奨学金貸与・返還シミュレーションを活用すると、奨学金の貸与額及び返還額等を試算することができます。

[奨学金貸与・返還シミュレーション-JASSO](https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/)

(<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>)



[参考 3] 貸与奨学金 保証制度について [機関保証/人的保証]

- ・「2025 年度在学者用 貸与奨学金案内」P23-28 参照。
- ・㊥ スカラネット入力下書き用紙(給付・貸与共通)P.10 の STEP5 にて、機関保証/人的保証のどちらかを選択。
- ・参照 1 : [機関保証制度チラシ 2025](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/kikan_hosho/_icsFiles/afieldfile/2025/05/21/jasso_kikanchirashi_2025.pdf)

(https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/kikan_hosho/_icsFiles/afieldfile/2025/05/21/jasso_kikanchirashi_2025.pdf)

- ・参照 2 : [機関保証制度リーフレット 2025](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/kikan_hosho/_icsFiles/afieldfile/2025/05/21/jasso_kikanleaf_2025.pdf)

(https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/kikan_hosho/_icsFiles/afieldfile/2025/05/21/jasso_kikanleaf_2025.pdf)

～給付奨学金と第一種奨学金を併用する方へ～

併給調整にご注意！
第一種奨学金が入金されなくなる可能性があります！

本要項 p6、「給付奨学金案内」p19～21、「貸与奨学金案内」p7～8を確認ください。

給付奨学金と第一種奨学金の両方に採用された場合、給付奨学金の支援区分等に応じて第一種奨学金の貸与月額が調整されます。(これを併給調整という)

給付奨学金と第一種奨学金の活用について

Q 給付奨学金を利用していると、第一種奨学金（無利子）が減額されてしまうと聞いて、どのように利用したらよいか悩んでいます。

A 給付奨学金に採用されると、加えて授業料等の減免をセットで受けることができます。 どちらも、第一種奨学金と違って原則返還の必要がありません。 第一種奨学金は調整されますが、不足があれば、第二種奨学金を利用することもできます。

- ✓ 給付奨学金は、授業料等の減免をセットで受けられ、しかも原則返還の必要がありません。 (住民税非課税世帯の場合、基本的に、給付奨学金+授業料減免の支援額のほうが、第一種奨学金を借りられる額よりも多くなります。)
- ✓ 給付奨学金は、口座への振込となります。授業料減免の支援額は口座には振り込まれませんが、授業料が減免されます。
- ✓ 奨学金として手元に振り込まれるお金を多く確保しておく必要がある場合、第一種奨学金には併給調整(※)があるため、第二種奨学金(有利子)等、さまざまな支援の利用をご検討ください。

※【併給調整】給付奨学金と第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の借りられる金額が調整されます。(振込額が0円になる場合もあります)。第二種奨学金には併給調整はありません。

【1年間の支援額を比較してみました】

(私立大の2年次以降に在籍している方の例)

・給付奨学金を利用せずに第一種奨学金を利用した場合

	第一種奨学金 (無利子)		支援額 (年間) B	口座に振り込まれる金額 (年間) B
	貸与月額 (A)	貸与額(年間) A×12月=(B)		
自宅	¥54,000	¥648,000	¥648,000	¥648,000
自宅外	¥64,000	¥768,000	¥768,000	¥768,000



・給付奨学金と共に第一種奨学金を利用した場合
(住民税非課税世帯の方が満額の支援を受けるケース)

	(返還不要) 給付奨学金		(返還不要) 授業料減免	第一種奨学金 (無利子)		支援額 (年間) D+E+B	口座に振り込まれる金額 (年間) D+B
	支給月額 (C)	支給額(年間) C×12月=(D)	減免上限額 (E)	貸与月額 (A)	貸与額(年間) A×12月=(B)		
自宅	¥38,300	¥459,600	¥700,000	¥0	¥0	¥1,159,600	¥459,600
自宅外	¥75,800	¥909,600	¥700,000	併給調整により減額	¥0	¥1,609,600	¥909,600

※給付奨学金にお申し込みをいただいても、審査によりご利用いただけない場合があります。
上記の額は最大まで支援を受けることができる場合のケースであり、実際は、支援の区分や学校種別等により金額が異なります。
調整される第一種奨学金の額も、同様に異なります(給付奨学金を利用しながら、第一種奨学金の貸与を受けることができる場合もあります)。

[参考 5] 奨学金係への問い合わせについて

奨学金係へのお問い合わせは、学生ご本人がTKUポータル「質問・相談」機能を使って(以下の図参照)、質問等をご入力ください。保証人の方を含め電話でのお問い合わせはお控え願います。

